

# 2012 図書館便り

第三巻 第一号

発行日 2012年3月15日

## 卷頭言

副館長 木曾正之

### 目次:

卷頭言 1

私の推薦図書  
神藏先生 1

私の推薦図書  
石倉先生 遠藤先生 2

私の推薦図書  
遠藤先生 3

図書館達人への道  
<楽譜検索のコツ  
(Aシステムで楽譜を探す)> 4

図書館利用アンケート結果  
2011年度(音楽学部) 6

図書館利用アンケート結果  
2011年度(短期大学) 7

図書館員からの推薦  
コーナー(図書) 8

図書館からのお知らせ 9

### 【図書】

書名 『育ての心(上)(下)』  
著者 倉橋惣三  
出版 フレーベル館(2008.4)  
ISBN 9784577803172(上)、  
9784577803189(下)  
定価 1,100円(上)、1,200円(下)

バーコード番号  
J049041.  
J049044/

本学図書館では、2010年に始めた大学全体のさらなる「質の追求・向上」を目指すプログラムの一環として、図書館のスタッフ・運営方法や、図書・楽譜・視聴覚資料の見直しをすすめています。

2012年3月に、利用者の多いWindowsパソコン22台とプリンター2台を更新しました。同時に、Windows用のMicrosoft Officeも3101教室と同じOffice 2010になりました。教室と同じWord 2010やExcel 2010を使用してレポートや演奏会のプログラムなどを作成することができます。

図書館では、学生の方に無線LAN環境を用意しています。無線LANの利用方法は、図書館のパソコンでブラウザを起動した時に表示されるメニュー画面の「図書館」→「無線LAN」をご参照ください。また、3月には、1階カウンター前付近にて、au Wi-Fiにも対応しました。

図書館のパソコンでは、クラシック音楽を中心に、CD59,201枚の音楽を全曲再生できる配信

サービス Naxos Music Library も利用できます。また、自宅のパソコンから Naxosを利用できるユーザIDを配布していますので、図書館カウンターにご相談ください。

学生の皆さんからの図書館資料の購入リクエストは、館内にあるリクエストパソコンをご利用ください。リクエストに応じて、図書、CD・DVD、楽譜など授業に関連する資料を購入しています。平成23年度には328点の資料が、学生の皆さんからのリクエストにより追加されています。

その他の図書館についてのご要望やわからないうことは、図書館カウンターにご相談ください。もっと気軽に相談できるように学生による図書館サポートーズの制度も2012年度から始まりますのでぜひ活用してください。

今後もIT環境の整備を含めて、皆さんご利用しやすい図書館を目指して運営してゆきます。

## ＜私の推薦図書＞ 【神藏幸子先生(幼児教育保育科)】

わが国の「幼児教育の父」、「日本のフレーベル」ともいわれる倉橋惣三の名は、保育の勉強をする人なら一度は聞いたことがあるでしょう。しかし、彼の著作をまだ読んだことがない人は意外多いかも知れません。

「育ての心」は1936年に出版されたものです。初版の序は「自ら育つものを育たせようとする心それが育ての心である 世の中にこんな楽しい心があろうか」と始まっています。そしてこの言葉

は、彼の墓所の句碑にも刻まれることになりました。本書は彼の代表作であり、最も親しまれているものということができるでしょう。

いまは仮名づかいも改められ、新書版でも出ています。「古きを温ねて新しきを知る」といいますが、本書の思想は時代を超えて今なお新鮮な感動を呼び起します。平易な文体で綴られた内容は、傍らにおいて、折にふれ頁を繰ってほしい一冊です。

## ＜私の推薦図書＞

### 【石倉 敏雄先生(教職センター)】

**【図書】**

書名 『食べるということ—民族と食の文化—』

著者 小泉 武夫

出版 NHK出版(2012年1月1日発行)

ISBN 9784149107707

定価 800円

著者は、東京農業大学名誉教授で、様々な視点から日本人の食の在り方を提言している食文化論者である。戦後、日本は経済発展により、物質的な豊かさや世界一の長寿国になった一方で、「日本人らしさ」が失われていると思ってならないという。

特に、戦後、肉の消費量は4倍、油の消費量は5倍に増え、本来、低タンパク、低脂肪、低カロリーだった日本人の食事が、高タンパク、高脂肪、高カロリーになっており、これだけ食生活が様変わりした民族は世界中どこにもいないと指摘する。

また、現代の日本では生活習慣病が深刻化し、アレルギーやアトピーの子どもが増え、キレル子や心の悩みが取り上げられており、日本人が抱え

る問題と食生活の激変とは無関係ではないと厳しく警鐘している。

血圧や血糖値が少々高めの私にとっても、この本は、私の食生活を考えるきっかけになっているが、特に、子どもたちの成長・発達という人間形成にかかわる学校教育の場では、「食育」に関する指導が今日的な課題として重視されているところでもある。将来、教職に就いて子どもの指導にあたったり、親として子育てする立場にある学生諸君には是非一読をお薦めしたい一冊である。

なお、この本は、現在、NHKラジオテキストとして使用されており、日曜日のラジオ第2放送で3月末まで放送される。関心のある学生にはラジオ講座もお薦めしたい。

## ＜私の推薦図書＞

### 【遠藤 紀明先生(音楽学)】

**【図書】**

書名 ファウスト(第1部、第2部)

著者 ゲーテ 訳 高橋義孝

出版 新潮社(新潮文庫)

ISBN 4102015035(第1部)

4102015043(第2部)

定価 第1部:476円、第2部:667円

バーコード番号

J054025Z

J054026-

『ファウスト(Faust)』は、18-19世紀ドイツの詩人ヨハン・ヴォルフガング・フォン・ゲーテ(Johann Wolfgang von Goethe 1749-1832)の代表作とされる長編の戯曲であり、全編を通して韻文で書かれている。この戯曲は、15-16世紀頃のドイツに実在したゲオルク・ファウストという鍊金術師の伝説「ドクトル・ファウストの物語」を下敷きにしているが、ゲーテはすでに子供の頃にこの物語を自ら人形劇に仕立てて遊んでおり、ほぼ一生をかけて(第一部の執筆は1773年頃に始まり第二部

の出版はゲーテの死の翌年)完成した畢生の大作である。伝説のファウストは、悪魔と契約して最後には魂を奪われ体を四散されたとされるが、ゲーテは主人公のファウストに近代的な「生」を与え、最後にはその魂が救済される物語に仕立てあげた。ドイツ近代の文学に限らず音楽にも大きな影響を与えた作品であり、今なお様々な文化にその影響をおよぼし続けている。翻訳は大学図書館にいくつかあるが、開架では高橋義孝訳(新潮文庫)がある。なお、ファウストという苗字はドイツで特に珍しいものではなく、元来「幸福な、祝福された」を意味するラテン語《faustus》に由来するものであり、「拳骨」を意味するドイツ語の《Faust》との一致は偶然にすぎない。

## ＜私の推薦図書＞ 【遠藤 紀明先生(音楽学)】 2ページより続き

### ゲーテの『ファウスト』にかかわる音楽 I

『ファウスト (Faust)』は、ドイツの詩人ヨハン・ヴォルフガング・フォン・ゲーテ (Johann Wolfgang von Goethe 1749–1832) の代表作とされる長編の戯曲であるが、たんに文学の領域にとどまらず、19世紀以降の作曲家たちにさまざまなインスピレーションを与えてきた作品として、音楽にかかわる者にとって必読書といえる。歌劇の素材としてだけでも、シュポーア (Louis Spohr 1784–1859) 歌劇『ファウスト』(1813)、グノー (Charles Gounod 1818–93) 歌劇『ファウスト』(1859)、ボイット (Arrigo Boito 1842–1918) 歌劇『メフィストーフェレ』(1868)、ツェルナー (Heinrich Zöllner 1854–1941) 歌劇『ファウスト』(1887) 等の作品が挙げられる。もっとも、これら舞台音楽作品は長大な原作の一部を用いたものであり、できれば、まずは原作を読むことで、それが作曲家に与えたインスピレーションを追体験してみることをお薦めしたい。また、ゲーテの『ファウスト』の元となった「ドクトル・ファウストゥスの物語」を素材とした作品である

### ゲーテの『ファウスト』にかかわる音楽作品 II

歌劇および歌曲を除く、ゲーテ (Johann Wolfgang von Goethe 1749–1832) の『ファウスト』にかかわる作品をいくつか以下に紹介しておきたい。これらを聴いた後で、ゲーテの作品自体を読んでみるのも悪くない。ベルリオーズ (Hector Berlioz 1803–69)『ファウストからの8つの情景』(1829) および『ファウストの劫罰』(1846)、メンデルスゾーン (Felix Mendelssohn Bartholdy 1809–47)『最初のフルブルギスの夜』(1832)、シューマン (Robert Schumann 1810–56)『ゲーテのファウストからの情景』(1853)、リスト (Franz Liszt 1811–86)、『ファウスト交響曲』(1854)、マーラー (Gustav Mahler 1860–1911) 交響曲第8番 (1906)、シュニトケ (Alfred Schnittke 1934–98) カンタータ『ヨハン・ファウスト博士の物語』(1995) といったところが挙げられる。なお、シュニトケの作品は、ゲーテの『ファウスト』の元となった「ドクトル・ファウストゥスの物語」をテキストとした作品である。また、器楽作品であるがヴァーグナー (Richard Wagner 1813–83) の『ファウスト序曲』(1844) も紹介しておこう。

### ゲーテの『ファウスト』にかかわる音楽作品 III

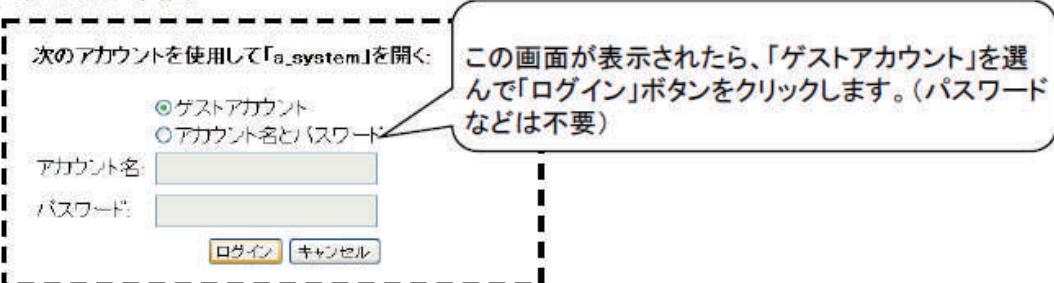
歌曲(リート)の素材としてもゲーテ (Johann Wolfgang von Goethe 1749–1832) の『ファウスト』は重要である。たとえば、第一部でグレートヒエンの歌う『トゥーレの王』は、ライヒアルト (Johann Friedrich Reichardt 1752–1814)、ツェルター (Karl Friedrich Zelter 1758–1832) 等の初期リート作曲家をはじめ、シューベルト (Franz Schubert 1797–1828) やリスト (Franz Liszt 1811–86) などおよそ30の付曲が存在する。同じく『糸を紡ぐグレートヒエン』はシューベルトの付曲があまりにも有名で、その完成(1814年10月19日)をもってリート誕生の日と極論する人もいるくらいの記念碑的作品であるが、他にもツェルター、シュポーア (Louis Spohr 1784–1859)、レーヴェ (Karl Loewe 1796–

1869)、ヴァーグナー (Richard Wagner 1813–83) などおよそ20の付曲がある。さらに、メフィストフェレスの歌う『蚕の歌』はロシア語訳によるムソルグ斯基 (Modest Musorgsky 1839–1881) の付曲が有名だが、ベートーヴェン (Ludwig van Beethoven 1770–1827)、ブゾーニ (Ferruccio Busoni 1866–1924)、ヴァーグナーなどが付曲しているし、第二部第五幕の『塔守リュンコイスの歌』にはレーヴェ、シューマン (Robert Schumann 1810–56) などの付曲がある。とりわけ『塔守リュンコイスの歌』は詩の味わい深さにおいて傑出している。

## 図書館達人への道 <楽譜検索のコツ(Aシステムで楽譜を探す)>

Aシステムとは……洋楽譜専用のデータベースで、編成から楽譜を探すのに適しています。  
 こんな時に便利！ ⇒ 2台ピアノに編曲された楽譜を探しているんだけど…?  
 金管五重奏の曲で何かいものないかな?  
 作曲者や曲名のスペルが正確にはわからないんだけど…?

### ■1. ウェルカム画面



次のアカウントを使用して「a\_system」を開く:

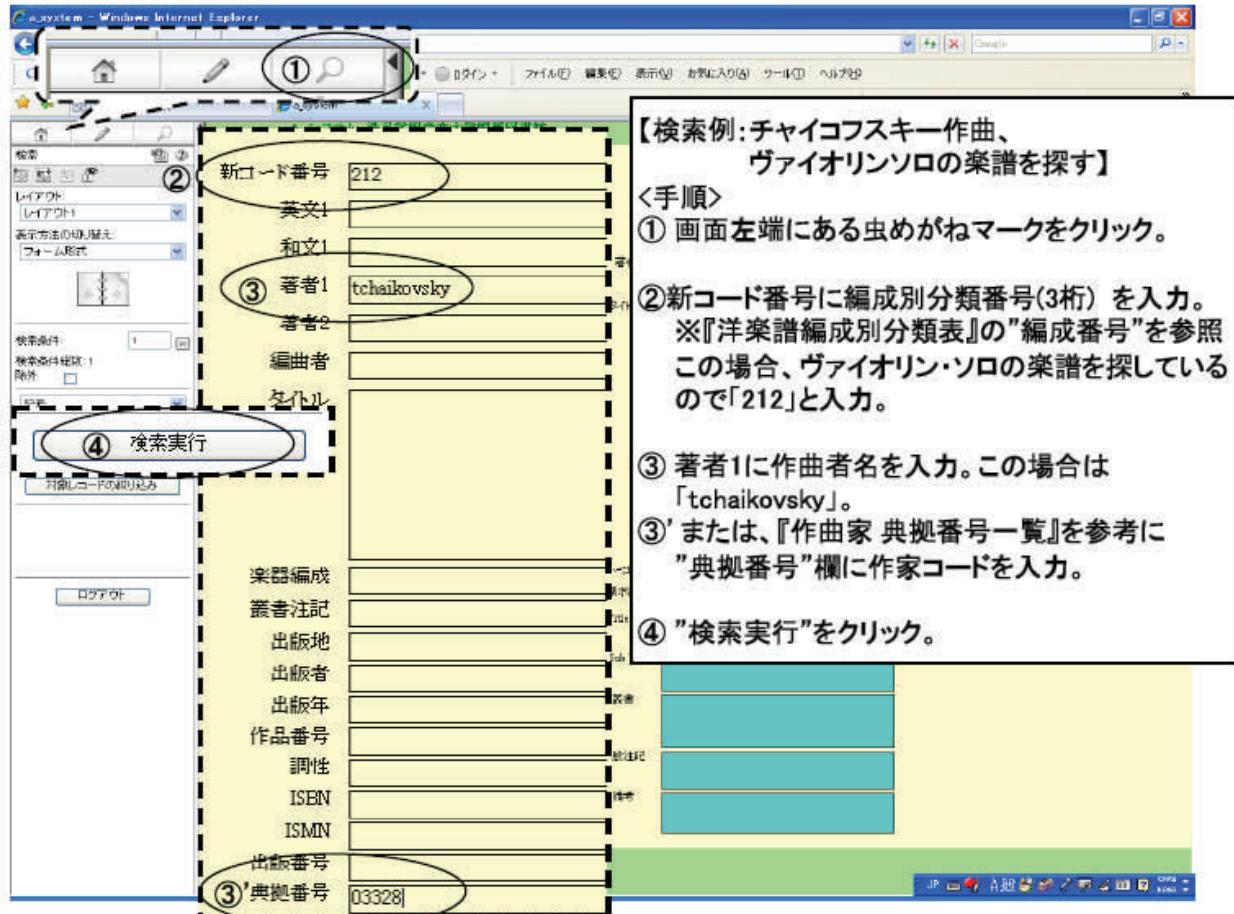
ゲストアカウント  
 アカウント名とパスワード

アカウント名: \_\_\_\_\_  
 パスワード: \_\_\_\_\_

ログイン キャンセル

この画面が表示されたら、「ゲストアカウント」を選んで「ログイン」ボタンをクリックします。(パスワードなどは不要)

### ■2. 検索画面



【検索例: チャイコフスキ一作曲、ヴァイオリンソロの楽譜を探す】

① 画面左端にある虫めがねマークをクリック。

② 新コード番号に編成別分類番号(3桁)を入力。  
 ※『洋楽譜編成別分類表』の”編成番号”を参照  
 この場合、ヴァイオリン・ソロの楽譜を探している  
 ので「212」と入力。

③ 著者1に作曲者名を入力。この場合は  
 「tchaikovsky」。  
 ③' または、『作曲家 典拠番号一覧』を参考に  
 ”典拠番号”欄に作家コードを入力。

④ ”検索実行”をクリック。

## ■3. 検索結果画面

⑤ "対象レコード"の数が該当結果数。  
今回の例では、該当する楽譜数は35件。

⑥ 次の資料の詳細を見たい場合は、  
本の形のページをクリック。

⑦ 利用する楽譜が決まったら、バーコードを  
コピーし、OPACで所在・状況などを確認。  
閉架の楽譜ならば、  
●新コード番号 ●請求記号  
●タイトル ●作曲者  
を「楽譜資料請求・貸出票」に記入し、  
カウンターに提出する。

## ■4. 「楽譜資料請求・貸出票」の記入例

記入例		楽譜資料請求・貸出票		
申込月日	平成 1 年 1 月 1 日	<input type="checkbox"/> 請求・複数持参 <input type="checkbox"/> 借出料・貸出料 <input type="checkbox"/> 特別研究生 <input type="checkbox"/> 特別講師生		
申込者名	洗足 太郎	<input type="checkbox"/> 教員 <input type="checkbox"/> 研究員 <input type="checkbox"/> 演奏部助手		
新コード番号	212-03328-000100	<input type="checkbox"/> 学生生 <input type="checkbox"/> 研究生 <input type="checkbox"/> 中高 <input type="checkbox"/> 外部		
請求記号	CM/9897	<input type="checkbox"/> その他( )		
新コード番号		作曲者	Tchaikovsky	種別印
請求記号		タイトル	Concerto D op.35	
新コード番号		作曲者		
請求記号		タイトル		
新コード番号		作曲者		
請求記号		タイトル		

## &lt;Aシステムファイルについて&gt;

Aシステムのデータを印刷したものを、ファイルにして館内に設置してあります。  
パソコン検索ができない時などにご利用下さい。  
(最新のデータは、ファイルには載っていない場合があります)



図書館の資料を探していて不明な点がありましたら、図書館サポーター、もしくはカウンターにご相談を！

## 図書館利用アンケート結果 2011年度(音楽学部)

アンケート集計結果(学部生) 回収総数 805 枚

問1. 図書館をどの程度利用していますか。	利 用 ほ ぼ 每 日	4 週 に 程 度 3 回	程 過 度 に 1 回	利 用 ほ と せん ぜ ど	合 計
	9.1%	27.8%	40.4%	22.9%	100.0%

問2	た 良 く な つ	な や つ や た 良 く	普 通	分 や 不 十 分	不 十 分	い わ か ら な	合 計
A. 楽譜の貸出期間を当日(1日)から1週間とした	68.4%	10.5%	11.8%	1.3%	0.7%	7.3%	100.0%
B. CDの貸出期間を1泊2日から1週間とした	74.3%	8.8%	9.3%	1.8%	0.9%	4.8%	100.0%
C. IFIに新刊書、推薦図書展示するコーナーを設置	46.9%	15.9%	27.4%	1.1%	0.4%	8.3%	100.0%
D. Finale搭載PCを5台増設し、10台とした	49.4%	14.6%	19.8%	0.2%	1.3%	14.8%	100.0%
E. 国立情報学研究所の学術論文DB、CiNiiを導入	30.5%	10.5%	25.8%	0.2%	0.2%	32.9%	100.0%
F. 学術情報DBのRILM、RISMを導入	29.6%	10.3%	26.2%	0.0%	0.2%	33.8%	100.0%
G. オーディオルーム利用条件を3名以上→2名以上	49.7%	13.8%	19.7%	1.6%	3.4%	11.7%	100.0%

問3	満 足	ま あ 満 足	普 通	や や 不 满	不 满	合 計
A. 図書の所蔵状況、種類	26.5%	27.1%	32.2%	9.3%	4.8%	100.0%
B. CDの所蔵状況、種類	21.0%	24.4%	27.8%	18.8%	8.1%	100.0%
C. 楽譜の所蔵状況、種類	22.8%	22.6%	30.9%	16.7%	7.2%	100.0%
D. 図書の貸出条件(5冊まで、2週間)	40.6%	23.4%	29.7%	3.9%	2.3%	100.0%
E. CDの貸出条件(4冊まで、1週間)	34.8%	24.4%	24.8%	10.1%	5.9%	100.0%
F. 楽譜の貸出条件(4冊まで、1週間)	38.3%	25.2%	30.7%	3.7%	2.0%	100.0%
G. パソコンの台数(Windows 62台)	33.8%	24.0%	33.5%	5.9%	2.8%	100.0%
H. パソコンの台数(Mac 18台)	33.2%	22.1%	35.5%	6.7%	2.5%	100.0%
I. 学習用閲覧席の数(48席)	31.2%	21.6%	38.7%	6.1%	2.5%	100.0%
J. オーディオルームの室数、貸出条件	31.3%	20.5%	37.6%	6.8%	3.7%	100.0%
K. 学生リクエスト制度(月5件、年間30件以内)	29.2%	19.2%	44.3%	5.6%	1.7%	100.0%
L. 貸出・返却等の事務手続き	33.3%	20.4%	39.0%	4.7%	2.6%	100.0%
M. 照会、質問等に対するスタッフの対応	31.3%	22.7%	37.3%	5.8%	3.0%	100.0%
N. 開館時間(B:30~19:00)	18.9%	15.6%	30.3%	21.2%	13.9%	100.0%
O. 全体的な雰囲気	32.2%	24.2%	38.6%	4.2%	0.8%	100.0%

問4. OPACについて	い わ か り や す す	や ま あ い わ か り	い ど え ち な ら い と も	に や く や い わ か り	い わ か り に く	合 計
A. 楽譜検索の初期画面の入力	23.4%	29.3%	32.2%	10.0%	5.1%	100.0%
B. 検索したデータ(楽譜)の読み込み方法	17.0%	26.7%	35.7%	14.1%	6.5%	100.0%
C. 検索した楽譜の詳細情報	17.8%	24.6%	35.6%	14.3%	7.9%	100.0%
D. 1F開架楽譜の配列、探しやすさ	17.9%	26.4%	33.0%	14.9%	7.8%	100.0%
E. 閉架楽譜の請求方法	14.4%	21.6%	40.1%	12.6%	11.3%	100.0%

問5. 図書館職員からのサポート 有効なもの 3つま 回答数 805

1. 図書や論文の検索	106	13.2%
2. 楽譜の検索	249	30.9%
3. CD・DVD等の検索	201	25.0%
4. パソコン等の操作方法	154	19.1%
5. 特定テーマに関する資料全般の検索	41	5.1%
6. レポート等の作成方法	53	6.6%
7. CiNiiやRILM・RISM等のDBの検索	14	1.7%
8. 他大学図書館等の資料の検索、取り寄せ	78	9.7%
10. 特に必要なし	94	11.7%
9. その他	3	0.4%

問6. 全体的に見て図書館は昨年度と比べて

た 良 く な つ	な や つ や た 良 く	普 通	な や つ や た 壊 く	た 壊 く な つ	合 計
23.4	41.0	26.3	6.4	2.9	100.0

全体的に見て昨年度と比べて、「良くなった」「やや良くなつた」の回答者合計は64.4%です。

## 図書館利用アンケート結果 2011年度(短期大学)

アンケート集計結果(短期大学) 回収総数 286 枚

問1. 図書館をどの程度利用していますか。	用ぼ すば る毎 日利	回通 程に 度3 利、 用4	度通 に 1 回程	用ぼ しと なんど 利	合計
	0	6.0	17.9	76.1	100.0

問2	た良 くな つ	なや つや た良 く	普 通	なや つや た悪 く	た悪 くな つ	いわ から な	合 計
A. 楽譜の貸出期間を当日(1日)から2週間とした	32.1	11.9	21.4	0	0	34.5	100.0
B. CDの貸出期間を1泊2日から2週間とした	29.8	19.0	17.9	0	0	33.3	100.0
C. 2Fに新刊書・推薦図書展示するコーナーを設置した	25.0	14.3	31.0	1.2	0	28.6	100.0
D. Finale搭載PCを5台増設し、11台とした	26.2	14.3	22.6	1.2	0	35.7	100.0
E. 国立情報学研究所の学術論文DB、CINIを導入した	5.2	9.5	27.4	1.2	0	44.0	100.0
F. 学術情報DBのRILM、RISMを導入した	17.9	10.7	26.2	1.2	0	44.0	100.0
G. オーディオルーム利用条件を3名以上→3名以上	44.0	17.9	13.1	1.2	1.2	22.6	100.0

問3	満 足	満ま 足あ り	普 通	不や 満や り	不 満	合 計
A. 図書の所蔵状況、種類	29.2	22.5	38.2	2.2	7.9	100.0
B. CDの所蔵状況、種類	25.8	24.7	34.8	9.0	5.6	100.0
C. 楽譜の所蔵状況、種類	27.3	21.6	40.9	6.8	3.4	100.0
D. 図書の貸出条件(5冊まで、3週間)	34.1	20.5	35.2	8.0	2.3	100.0
E. CDの貸出条件(3枚まで、2週間)	29.5	19.3	43.2	2.3	5.7	100.0
F. 楽譜の貸出条件(4冊まで、2週間)	31.8	19.3	42.0	2.3	4.5	100.0
G. パソコンの台数(Windows 63台)	26.1	21.6	34.1	11.4	6.8	100.0
H. パソコンの台数(Mac 19台)	22.7	26.1	36.4	8.0	6.8	100.0
I. 学習用閲覧席の数(49席)	25.0	22.7	33.0	9.1	10.2	100.0
J. オーディオルームの空缺、貸出条件	22.7	23.9	30.7	11.4	11.4	100.0
K. 学生リクエスト制度(月5件、年間31件以内)	21.6	21.6	47.7	4.5	4.5	100.0
L. 貸出・返却等の事務手続き	23.9	20.5	46.6	3.4	5.7	100.0
M. 照会、質問等に対するスタッフの対応	23.0	19.5	44.8	8.0	4.6	100.0
N. 開館時間(8:30～19:00)	18.2	23.9	39.8	6.8	11.4	100.0
O. 全体的な雰囲気	28.4	28.4	37.5	1.1	4.5	100.0

問4. 優先的に整備を希望する	優 先 度 高 い	や や 優 先	いど えち なら いと も	優 先 度 低 い	希 望 せ ず	合 計
A. 保育、幼児教育等の専門図書、資料	39.6	28.7	23.8	3.0	5.0	100.0
B. 文学等の一般教養図書	24.0	19.0	42.0	7.0	8.0	100.0
C. ディズニー、ジブリ棟のCD・DVD	56.9	21.6	16.7	2.0	2.9	100.0
D. 音楽分野のCD・DVD(ミュージカル等)	30.7	23.8	32.7	4.0	8.9	100.0
E. 楽譜、音楽関連図書	21.8	19.8	44.6	5.0	8.9	100.0
F. パソコン	26.5	24.5	34.3	5.9	8.8	100.0
G. オーディオルーム	39.2	17.6	29.4	6.9	6.9	100.0

問5. 図書館職員からのサポート 3つまで	回答者数
1. 図書や論文の検索	22 25.0
2. 楽譜の検索	20 22.7
3. CD・DVD等の検索	28 31.8
4. パソコン等の操作方法	24 27.3
5. 特定テーマに関する資料全般の検索	3 3.4
6. レポート等の作成方法	9 10.2
7. CiNiiやRILM・RISM等のDBの検索	1 1.1
8. 他大学図書館等の資料の検索、取り寄せ	3 3.4
10. 特に必要なし	17 19.3

問6. 全体的に見て図書館は昨年度と比べて	た良 くな つ	なや つや た良 く	普 通	なや つや た悪 く	た悪 くな つ	合 計
	24.6	23.0	47.5	1.6	3.3	100.0

全体的に見て昨年度と比べて、「良くなった」「やや良くなつた」の回答者合計は 47. 6% です。

## <図書館員からの推薦コーナー(図書)>

### 『無調音楽の構造』

アレン・フォート著 森あかね訳 音楽之友社

バーコード番号

J048326%

音高を整数に割り当て、音楽への集合論の適用を容易にすることにより、無調音楽における音高の組み合わせを、従来の和音という概念ではなく、セット（集合）として認識し、分析することを可能としたピッチクラス・セット理論。それは本書によって確立された。（帯文より）

アメリカにおいて音楽学を専攻する学生が、シェンカー理論と共に必ず学ぶ、ピッチクラス・セット理論。シェーンベルクやストラヴィンスキイによって書かれた無調音楽を分析するために必須のこの理論を確立した名著が、その著者に直接学んだ訳者の手によって翻訳された。

### 『西洋合唱曲物語』 バッハからドヴォルザークまで

田中正彦著 文芸社

バーコード番号

J0483630

「マタイ受難曲」、「メサイア」、「天地創造」、「ミサ・ソレムニス」・・・  
西洋合唱曲の名曲を、作曲家の逸話も交えながら紹介。  
合唱愛好者にはもちろん、クラシック初心者にも楽しめる一冊。

50歳近くになって初めて聴いた「マタイ受難曲」をきっかけに、合唱の世界に浸るようになった著者。自らも合唱団に入団し、以来、バッハ、ヘンデル、ハイドン、モーツアルト、ベートーヴェン、メンデルスゾーン、ブラームス、ヴェルディなどの数々の合唱曲を体験してきた。合唱曲を聞くこと、歌うことの感動と魅力を、曲目解説や作曲家の逸話などを交えながら紹介する。

### 『新卒無、業』 なぜ、彼らは就職しないのか

大久保幸雄著 東洋経済新報社

バーコード番号

J0462750

若年失業という、世界各国が持つ悩み。それを日本には無縁なものとしていた「新卒採用制度」の崩壊。敗者復活がなりにくい日本の中で、はじめの一歩を上手く踏み出せなかつた人はどうなってしまうのか・・・。だが、悲観的な話ばかりではない。さまざまな角度から「雇用」について真正面から取り組む人たちや、自分たちで新しい働き方を模索する「20代」についても、本書は多くのページを割いている。仕事とはなんだろう、就職とはなんだろう、キャリアとはなんだろう。それらを深く考えてるために、今の労働市場の一面を知るためのナビゲーターとして、本書は役に立つだろう。

## 【図書館からのお知らせ】

### ①楽譜検索をお手伝い：“図書館サポーター”を4月から導入予定！

図書館利用者の楽譜検索、探索等をお手伝いする“図書館サポーター”制度を、平成24年4月から導入予定です。これは、図書館利用者が楽譜を検索したり、探したりするのを、学部生、大学院生の有志が支援する制度で、原則として授業のある平日の午後、図書館1階の案内カウンターに常駐しています。

サポーターとなってくれる皆さんには、厳しい（？）研修を受け、利用者のご要望にお応えしようと、意欲満々でお待ちしています。パソコンでの楽譜検索の方法がよくわからない、楽器編成別に楽譜を探すにはどうしたら？、初期検索はできたが絞込みが苦手、などなど、楽譜検索・探索に関することなら何でもサポーターにお尋ねください。ひょっとすると、画期的なテクニックを教えてもらえるかも！

### ②図書館システムに“マイライブラリ”機能を付加：さまざまな照会が可能

平成24年4月より、図書館システムに“マイライブラリ機能”が付加され、図書館に関する情報のうち、利用者個々人に関するものを照会することができるようになります。例えば、

- 現在、自分が借りている楽譜やCDはどんなものがあるのか
  - 新着情報の中に、自分の関心分野のものがあるか  
→事前に関心分野を条件設定しておくと、該当資料が入った際に表示
  - 予約した資料など、図書館への依頼事項がどうなったかを確認可能
- 詳しい操作方法は、図書館カウンターにご照会下さい。

## 【図書館からのお知らせ】続き

### ③ Finaleをバージョンアップしました。

Finaleを、2010Jにバージョンアップしました。

Windowsは10台、場所は従来通り、1階らせん階段付近に配置してあります。iMac（2階）についても10台完了していますが（LIB301～LIB310）、キーボードは設置されておりません。

### ④ Microsoft Office をバージョンアップしました。

Windows パソコンのMicrosoft Office を、2010にバージョンアップしました。

発行： 洗足学園音楽大学附属図書館  
洗足こども短期大学附属図書館  
発行日：2012年3月15日